

都民ファーストの会

豊島区議団・民主の会

子供たちの世代へ責任ある政治を!!
巣鴨小 OB。豊島に恩返し。

細川正博

豊島区南大塚 1-51-17 Mail info@hosokawamasahiro.jp

TEL 03-3945-2530 FAX 03-6774-8774

- ・政策等の詳細、日々の活動は HP/Blog/Facebook/twitter にて発信中！
- ・月ごとの活動報告をメールで配信中。HP よりお申込みください。



【細川正博（ほそかわまさひろ）・略歴】

昭和53年10月、豊島区南大塚生まれ。平成23年初当選、現在3期目。子ども文教委員会委員長。豊島区監査委員（R3）など歴任。党基礎自治体連絡協議会事務局長など。巣鴨幼稚園、巣鴨小学校、法政大学法学部政治学科卒。サラリーマンとして約10年勤務。3児の父。

区政施行90周年記念式典等が開催

11/1、豊島区制90周年の記念式典・祝賀会が挙行されました。

区民・企業の方々と今後の豊島区の更なる発展に向けた取り組みを進める方向性を共有する場になったと思います。

90周年記念事業は今後も続きます。

詳細は特設 HP をご覧ください。



「90周年 × SDGs」
豊島区 SDGs 特設 HP

トキワ荘通り昭和レトロ館がオープン

トキワ荘通り昭和レトロ館がオープン。

「ゴルゴ13」特集展示、昭和の暮らしやおもちゃ、プラレールで製作した池袋駅構内の展示など。

トキワ荘マンガミュージアムから徒歩2分の立地。近隣施設との相乗効果で地域活性化につながって欲しいです。



第3回定例会 児童相談所設置に伴う条例整備、医療費助成を高校生等まで拡大など

9/14～10/21が会期。

補正予算では、**高齢者インフルエンザ定期予防接種に係る自己負担相当分を公費負担**とする経費、区施設や福祉サービス事業者等への光熱費・物価高騰への支援、食料価格高騰に伴う区立小中学校の学校給食への公費補助増額など。

子ども文教委員会では児童相談所の設置に伴う権限移譲などによる条例整備などの関連議案が多く付託されました。そのため、建築中の児童相談所の現地視察も委員会で実施。**児童相談所の業務は令和5年2/1から開始予定**です。

子供の医療費助成について、現行の中学生までから高校生等まで対象を拡大する条例改正も行われました。豊島区では**医療費助成に所得制限は設けません**。施行は5年4/1からとなります。



※決算特別委員会については裏面に記載

令和3年度決算を認定 決算特別委員会

10/3～19、決算特別委員会が行われ、令和3年度一般会計決算及び3特別会計予決算を賛成多数で認定。

〈概要〉

- ・一般会計歳出は1,436億9500万円（前年度比▲4.5%）、一般会計歳出は1489億7300万円（同▲4.1%）で過去2番目の規模。歳入増による基金積立や新型コロナ対策などを行った一方、国庫補助金による昨年度の約293億円の特別定額給付金が皆減した影響。
- ・区が挙げた決算の特徴は以下の3点、
 - ①感染拡大防止と社会経済活動の両立に最優先で取り組んだ決算
 - ②貯金と借金のバランスで過去最大規模を達成した過去最高の決算
 - ③区制施行90周年、さらには100周年に向けた準備を整えた決算



〈私が質疑した項目〉

会派を代表して、決算全般の総括質疑、まとめの意見開陳を行いました。

また、款別審査では以下を取り上げました。（概要是blogに記載）

**入札・契約制度／職員の働き方改革／救援センターのマンホールトイレ／
新型コロナウイルス感染症対策／骨髄バンクドナー支援制度／重度訪問介護／
大塚駅周辺の整備と将来像／インクルーシブ遊具／学校における働き方改革／
学校におけるICT機器等の配備／学校プールの設置方針／インクルーシブ教育**



blog 決算

大塚駅周辺の整備と将来像

駅東側道路の一方通行化など今後の工事、南口の再開発、民間企業との連携など質疑。官民で連携し目先だけではない街全体の価値を高めるまちづくりを進めたいという区長の決意も確認。駅周辺の治安と賑わいを両立し、地域の声が反映された活性化を図るよう求めました。



救援センターの マンホールトイレ

第2回定例会一般質問に続き問題提起。敷地内に接地する計画ではない救援センターへの対応を急ぐことを強く要望しました。



入札・契約制度

インフレスライド条項の適用、図面や資料の整合性、提出書類の簡素化などを切り口に質疑。事業者と十分に意見交換しながら、互いの負担軽減となるよう改善することを求めました。

学校におけるICT機器等の配備

タブレット端末は一人一台の配備が実現しましたが、教室のICT機器等は学校により配備状況が異なります。耐用年数が短い機器であるため、しばらく改築予定がない既存校にも新設校同様の配備を求めました。併せて、耐用年数が長い耐久品についても備品の更新の検討を求めています。

